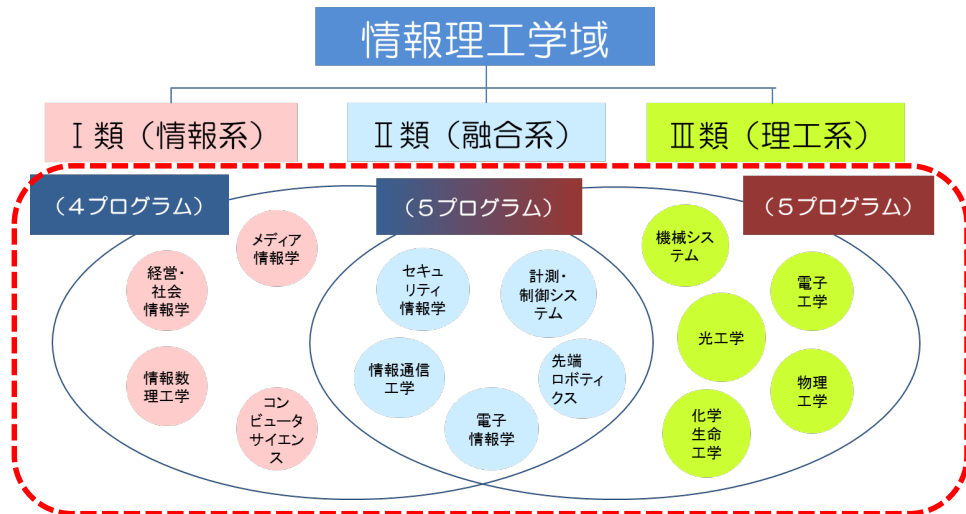


一般入試（前期日程） 入学者の声



前期日程は「学域一括」で募集

何に向いているのか、明確に判らないかもしれない時期に類を決めるより、大学の学びに触れてから進む道を選ぶのは良いと感じました。

現代は、分野横断した発想と高い専門技術が求められる世の中であり、この体制はそうしたニーズに合致していると思います。

大きい括りになっていると、広い視野をもって学べるという利点があると思います。

少なくとも、1年次での勉強へのモチベーションが上がる気がします。

大学に入ってから、専攻したい分野が変わるかもしれないので、半年猶予があるのは助かります。

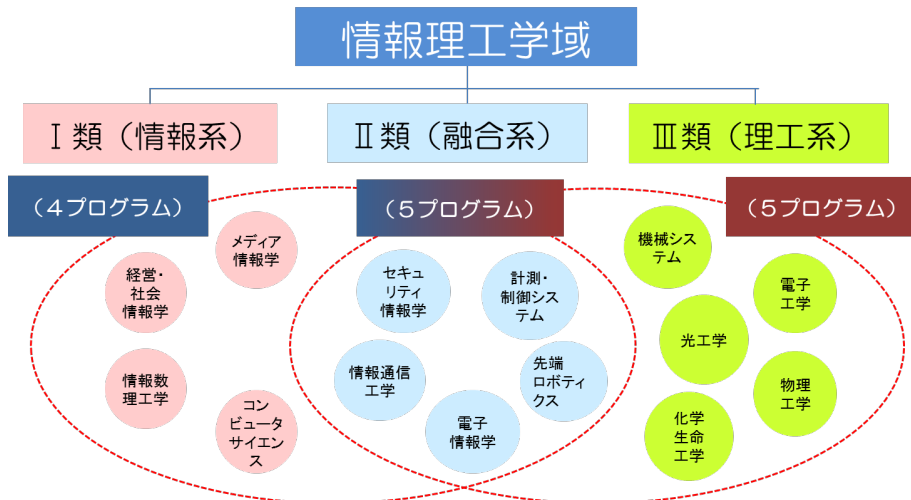
情報系と電気系で迷っていたので、少し勉強した後か、研究室の様子を見た後に選択できるのはありがたいです。

まだ自分が学ぶ専門分野を受験時に決められなかった。自分にとって理想の体系でした。

1年次で全員共通の科目を学べるのはとても良いと思います。また、I・II・III類のどれを志望するのか、考える時間ができて良いと思います。



一般入試（後期日程） 入学者の声



後期日程は「3つの類別」で募集

受験時に細かく分かれるのではなく、おおまかに志望を決めるという方向性は、学びの進路選択という点で良いと思います。

情報系・融合系・理工系という3つの括りは、大まか過ぎず、かつ大学で学んでいく中で研究分野を選択する自由があって良いと思いました。

第1希望から外れても第2希望以下に入れる可能性がある。

自分の就きたい業種に合わせて類を選ぶ事が出来るのは、とても良いと思いました。



類で大まかな方針を立てた後、専門性の高い教育プログラムを選べるのは、自分がより興味のある分野を選択しやすくなるので、良いと思いました。

特定の学科を選ぶのではなく大まかに括られた類で選択できるので、学科が合わなかったらどうしようという不安がなかった。

自分のやりたいことを熟考してから専門分野に進める事により、納得のいく進路選択が出来、研究に充実感が持てると思います。

入学した類に志望していた分野が全て入っていたのが、志望の大きな理由です。高校では自分が本当にやりたいことを決めるのは難しいため、良い制度だと思います。